

鼓童文化財団

2009 年度 年次報告書



鼓童文化財団研修生：お借りしている研修所裏の田んぼで、丹精込めた無農薬米の収穫

はじめに

皆様、お変わりございませんでしょうか。

2009 年は、佐渡の小木地区で続けてまいりました「アース・セレブレーション」が、米国ティファニー財団創設の『ティファニー財団賞・伝統文化大賞』を受賞するという大きな評価をいただくことが出来ました。このイベントは 22 年前の 1988 年から、皆様のお力をいただきながら継続して開催してきました。その間、眼前の生活の変化は様々ありましたが、この「アース・セレブレーション」の精神は当初と変わるものはありません。多様な文化を携えて人々が行き来し、身体と心で感じ合い、理解し合う交流の場を作ること。それが一貫して佐渡という土地に根付いて行われてきたことに関して、今回の受賞は広く皆様の共感をいただけたものと感じております。これを力にし、今後もますます共感の波を拡げていけるよう、努力、活動してまいります。

また 2009 年は、佐渡太鼓体験交流館の活動として、地元の小木三崎地区の地域資源の開発に取り組んでまいりました。地域の方々との自然との共存、知恵と工夫には目を見張るものがあります。ただただ昔に戻るのではなく、純然たる未来の姿としてエコや、シブブルな暮らしぶりを選び取っていくことが大切であり、都会にあっ

てもその事に共感してくださる方を増やしていく、その働きかけが私達の役割と考えます。引き続き地域に学び、発信してまいります。

4 月の声を聞き、研修所のある柿野浦集落でも祭りの稽古が始まりました。数年前から 2 年生は、育てた稲の藁を使って、自分達が祭りで履くワラジ作りを地元の方から習っています。自作のワラジで鬼を舞う喜びはひとしおながら、その耐久性の違いは歴然、地元の方々は何気なくされている作業の中の用と美、技の確かさに身を持って気付くのです。

このように研修生は、芸能も含め、佐渡の暮らしの中から多くを学びます。1997 年、二年制になってからの修了生はのべ 130 人。佐渡を含めた全国に散らばり、研修所での学びをそれぞれの拠点で実らせてくれることを願いながら、これからも充実した研修プログラムを作ってまいります。

本年度は特に、研修所と佐渡太鼓体験交流館及び財団の体質強化について、活発、充実した活動に努めてまいります。今後とも、皆さまの更なるご支援とご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。

2010 年 4 月

財団法人 鼓童文化財団 理事長 島崎信

2009 年度 実施事業

(2009 年 1 月 1 日～ 2009 年 12 月 31 日)

文章中、特に明記のないものは佐渡島内の活動です。

1、ワークショップ、講演、シンポジウムなどの開催

太鼓は芸術的な表現媒体である前に、人と人、人と地域を結ぶコミュニケーションの手段であると私たちは考えます。鼓童文化財団では太鼓を使ったワークショップなどを積極的に開催し、演奏における技術指導よりも個々人の可能性をいかに引き出すかに重点をおいた実践研究を行なって、地域に根ざした社会活動の一環として取り組んでいきたいと思ひます。

■ 北米ワークショップツアー (KASA 主催事業) 5/2 ～ 5/31

講師：藤本吉利、藤本容子

アメリカとカナダの太鼓グループを訪ねて太鼓・踊り・唄のワークショップを行いました。ニューヨーク、デンバー、ロサンゼルス、バンクーバーなど 9 都市で実施

■ 鼓童塾 (齊藤栄一の太鼓篇) 会場：鼓童文化財団研修所

9/30 ～ 10/4 15 名参加

講師：齊藤栄一 アシスタント：研修生

■ 研修生と佐渡の小中学生との交流公演

10/14 金井中学校 1 年～ 3 年 200 名対象

10/15 前浜小学校 1 年～ 6 年 25 名対象

6 月、10 月 松ヶ崎中学校交流会

■ 学生への授業および教育機関、地域との連携ほか

◎太鼓指導

- ・大井良明 深浦小学校『岬太鼓』、『岬組』 通年
- ・宮崎正美 佐渡こぼ・こころの教室 5 月
- ・石原泰彦 新潟県教職員組合 2 月
- 日本自然環境専門学校 5 月
- 両津地区保育園 10 月
- ・十河伸一 佐渡太鼓体験交流館における指導 通年
- 島内学生／島外修学旅行生対象

◎唄指導

- ・藤本容子 第 10 回家庭教育学級 3 月
- 小木小学校 1 年生、6 年生 11 月
- 新潟県内小・中学校教師研修グループ 8 月

◎その他

- ・山口幹文 佐渡市中学校音楽発表会 笛の演奏 11 月

■ 海外の太鼓グループへの指導 (於：たたこう館、研修所)

- ・齊藤栄一 (太鼓)、山口康子 (ソバ打ち)
 - ハワイ前進太鼓 3 月
- ・藤本吉利 (太鼓) アンカレッジ友達太鼓 7 月



研修所にて太鼓ワークショップ：ハワイの太鼓グループ



たたこう館にて太鼓ワークショップ：日本自然環境専門学校



たたこう館にて太鼓ワークショップ：アンカレッジの太鼓グループ



ロンドンにてレクチャー：「鼓童の歴史と活動」について

■ 講演

- ・山口幹文 於:京都市教大「日本の古典芸能と精神性」 1月
- ・菅野敦司 於:ロンドン、パリ「鼓童の歴史と活動」 6月
- ・千田倫子 国際離島文化交流会「鼓童の活動」 6月
- ・大場幸恵、千田倫子 山形県高校和太鼓連盟 於:山形「郷土芸能の魅力と鼓童研修所の実践」 11月



研修生：鼓童舞台メンバーから指導を受ける

2、伝統文化の再創造に関する研修および実践（研修所）

鼓童文化財団に所属する研修所では、広く内外から研修生を募集し、豊かな自然と芸能の宝庫である佐渡において、体験的学習を通して次代に伝えるべきく新しい伝統の創造を目指します。研修制度は2年制で、1年目は伝統文化の基礎を研修する総合課程、2年目は鼓童の活動を通じて実践的な力を養う専門課程となります。

1、2年合わせて16名が佐渡市柿野浦の旧岩首中学校校舎で研修生活を送りました。

1年生 9名 総合課程 芸能の基本を学ぶ

2年生 7名 専門課程 舞台芸術関係の専門分野を学ぶ

2010年1月をもって1年10ヶ月の研修を修了した27期生は、池田純、川村真悟、木下仁資、久保田潤、高橋亮、藤本暢之、上田恵里花の7名。それぞれの目標に向かい、学び舎を巣立ちました。このうち、高橋亮と藤本暢之が小木の鼓童村に居を移し、準メンバーとして舞台とスタッフワークの実地経験を積みます。

また、10ヶ月の総合課程を修了した1年生は9名。小松崎正吾、佐伯篤宣、境晃史、立石雷、奈尾知弥、三浦祐輝、小澤純子、谷口風見花、蓑輪真弥。そのうち7名が2年生に進級しました。2010年4月には、新1年生12名が入所します。



研修生：地元の魚屋さんによる講習

3、アクション・ライブラリーの運営

鼓童の国内外での活動記録をはじめ、佐渡で開催している国際芸術祭「アース・セレブレーション」の足跡、および伝統文化についての調査研究・資料収集の成果を、広く国内外の方々に利用していただくための図書館を将来的に運営したいと計画しています。これは関連図書・音響映像・収集資料を展示紹介してだけでなく、一般の方々がより親しみやすく相談し参加体験できる形を模索したアクション・ライブラリーとして「行動する図書館」を目指すもので、インターネットなどを通じて情報を公開していきたいと思えます。

■ 鼓童の書籍・ビデオ等約10,000冊、レコード6,000枚についての整理が終了しました。寄贈いただいたCD14,000枚を含む、新規・寄贈資料への対応をすすめています。

■ 鼓童ホームページ（日本語・英語）は月に1度ほど更新をしています。月平均約5,000件のアクセスがありました。

4、国際芸術祭「アース・セレブレーション（EC）」の実施

鼓童が地元の市町村とともに実行委員会を組織し、'88年より毎年開催している国際芸術祭を、今後ともその質的向上を目指して実施していきます。この芸術祭では、世界各地の民族音楽・芸能の専門家や研究者を招き、佐渡の自然の中で新しい「地球文化」の可能性を探るとともに、各地の伝統文化の紹介を通じてその振興をはかっています。海外からの参加者を積極的に働きかけて国際交流を促進し、次の世代への芸術的な基盤形成につとめます。

8/16～18に行われた本芸術祭は22回目を数えました。2009年は日蘭通商400年を記念する「日本オランダ年」でもあり、オランダの人気ロックバンドBLØF（プロフ）を城山コンサートのメインゲストに迎え、大好評いただきました。BLØFは、2005年より幾度も共演を重ねてきたグループであり、お互いに理解を深めた関係を私達の本拠地、佐渡で皆様にご紹介することができました。その他にも各種ワークショップ、一般参加のイベントなどの企画に多数ご来場いただきました。

また前年より引き続き、「EC＋Oプロジェクト」として佐渡島内外を問わず様々な団体と連携し、これまで以上にごみの減量と回収資源のリサイクル、リユースに取り組んでいます。

※第2回ティファニー財団賞「伝統文化大賞」を受賞

アース・セレブレーションが、これまでの21年の活動を評価され、伝統文化の振興・地域の活性化などに顕著な取り組みを行う団体を表彰する米国ティファニー財団創設の「ティファニー財団賞・

伝統文化大賞」を受賞しました。全国各地 31 団体から選出されたものです。

6月26日の東京・青山での授賞式に、実行委員会を代表して当財団理事長の島崎信と佐渡市観光課・越前範行氏が出席。アース・セレブレーション実行委員会として記念トロフィーを受け、藤本吉利と山口幹文が演奏を披露しました。

出演者（敬称略）

■ 城山コンサート

- ・BLØF（オランダ）
- ・鼓童

■ ワークショップ、レクチャー等

- ・蘭情「蘭情さんの笛工房」
- ・狩野泰一「篠笛を吹いてみよう」
- ・三宅島芸能同志会の皆さん「三宅太鼓」
- ・小木の皆さん「小木おけさ」
- ・春日鬼組「春日鬼太鼓」
- ・島崎信、関原剛 トークイベント「アースファニチャー展トーク」
- ※以下、鼓童メンバーによるもの
- ・藤本容子「ヴォイス・サークル」
- ・藤本吉利「あなたも大太鼓打ちに」「鬼剣舞の基本踊り」
- ・小島千絵子「千絵子流女打ちの基本」
- ・宮崎正美「打たにゃンドン！」
- ・十河伸一「しんちゃんせんせいと太鼓体験」

■ 特別フリンジ等

- ・三宅島芸能同志会（東京都）
- ・西野豆まき保存会、栗野江鬼太鼓の皆さん、春日鬼組「佐渡の芸能」
- ・小木の皆さん「小木おけさ流し」
- ・狩野泰一&今泉孝文
- ※以下、鼓童メンバーによるもの
- ・鼓童小編成「小島千絵子企画」「宵のゆんづる」「cocon」
- ・山口幹文&藤本容子「鼓童村稽古場コンサート」

■ 展示、見学など

- ・BLØF 展「UMOJA ～音楽的発見の旅」
- ・「アースファニチャー」展
- ・佐渡太鼓体験交流館見学+小木半島周遊ツアー
- ・小木町／まちなみ探索

■ 関連イベント

- ◎ EC プレイベント「太鼓体験塾」
- 6/27 サンバ篇（赤泊・畑野）講師：山口康子
- 6/28 和太鼓篇（佐和田・相川）講師：石原泰彦
- ◎ EC プレイベント「たたこう館太鼓体験ウィーク」
- 佐渡太鼓体験交流館にて、8/8～15に実施
- ◎ 「佐渡薪能公演」に協力（主催：佐渡観光協会）
- 能：観世流 津村禮次郎ほか、狂言：和泉流 小笠原匡ほか、太鼓：金子竜太郎、ダンス：森山開次
- 8/22 両津・権崎諏訪神社、8/23 相川・春日神社



EC 城山コンサート：BLØF と鼓童



EC ワークショップ：「蘭情さんの笛工房」



EC 特別フリンジ：「小木おけさ流し」



ティファニー財団賞「伝統文化大賞」授賞式

5、伝統文化に関する調査研究および資料収集

人類が長い年月を経てかたちづくり、伝えてきた世界各地の様々な伝統文化（特に民族音楽・芸能・工芸）、とりわけ佐渡を中心とした調査研究を行なうと同時に、その資料収集を積極的に進めます。

■ 小木三崎百年プロジェクト協議会(国・農林水産省補助事業)
小木三崎の活性化事業…小木三崎カフェ、小木三崎再発見マップ作成など

■ 廃校プロジェクト(トヨタ財団助成事業)に参加
統廃合が顕著に進んでいる佐渡をフィールドに、廃校を調査。その活用法、地域活性化を考えるプロジェクト



たたこう館：太鼓体験

6、伝統文化研究者・文化活動制作者への支援

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能の修得と、現代的な再創造を試みる集団「鼓童」。その鼓童に所属する研究者の調査・稽古・創作活動に対して支援を行なっています。また、文化活動の現場を支える制作者の受け入れや、関連団体への派遣なども行ない、国内外での文化交流を推進します。

■ 鼓童メンバーに対し、舞台に関連する調査を支援しました。
1月 吉井盛悟 八丈島出稽古

■ 2月に佐渡で行われた「佐渡吹奏楽フェスティバル」に協賛しました。



たたこう館：皁月まつりにて、郷土芸能紹介

7、年次報告書および関連図書の刊行

鼓童文化財団では、1年間の活動を報告し、事業や財団施設の利用情報を提供する年次報告書を発行します。また、研究・創造活動の成果を発表する出版物も随時発行します。

■ 年次報告書を4月に発行し、鼓童の会の会員の方、鼓童文化財団に寄付を寄せてくださった方々にお届けしました。

8、鼓童の会の運営

鼓童文化財団は鼓童の活動に社会的な価値を見だし、共感する個人によって支援される「鼓童の会」を運営します。毎月発行される機関誌を送付して活動への参加を呼びかけ、今後の事業に対する希望を募ります。

■ 鼓童の会の会員の方々をはじめ各関係者に機関誌(月刊「鼓童」を年11回、あるいは英文季刊誌「Kodo Beat」を年4回)をお送りしています。

■ 当財団は、皆様のご寄付と鼓童の会の会費で支えられています。鼓童の活動をご支援いただける企業・団体の方々に向け

ては、「法人会員制度」(年会費10万円)があり、鼓童公演ご招待、チケット優先予約、ワークショップへの優先参加、オリジナル商品の割引、ホームページのリンクなどの特典がございます。

また、個人でのご入会については、「友の会」「後援会」「賛助会」の3つの会と、英語版のサービス「Friends of Kodo」があります。それぞれにご案内を用意しておりますので、裏表紙下段記載の鼓童文化財団事務局まで、どうぞお気軽にお問い合わせください。

9. 佐渡太鼓体験交流館の運営

佐渡太鼓体験交流館(愛称:たたこう館)は2007年4月から、当財団が指定管理者として運営にあたり、今年度も島内外の学生や一般向けの太鼓体験の数を伸ばしてきました。

2009年1月から12月までの総来館者数は、11,568人
(うち太鼓体験者4,999人)

■ 主な実施事業

○太鼓体験

修学旅行(計73校:新潟県内小学校) / 島内学校 / 公民館・地域活動 / 会社・団体 / PTA・子ども会 / 佐渡ツアー企画 / 一般向けミニ体験企画など

○そば打ち体験、菓子づくり、干しサザエづくりなど

○たたこう館まつり: 皁月まつり / 霜月まつり

- 12月企画公演：「ちんどん鼓童」12月
- 展示企画：8～9月「EC原風景展」
- 施設貸出：各種シンポジウム、サークル活動、ワークショップ、イベント、結婚式会場、勉強会、茶道稽古、そば打ち体験など

■ 今後の取り組み

- ・ 太鼓体験の通年受け入れ、合宿誘致、大学との連携
- ・ 11月に、菅野敦司と上之山博文が「国内旅行業取扱管理者」の国家資格を取得。佐渡島内の旅行をコーディネートする、第3種旅行業登録申請を準備中です。太鼓以外の体験メニューの開発や小木・佐渡の他の体験との連携など、これまでのネットワークを生かした提案をまいります。

※ 2010年「たたこう館まつり」開催予定
 皐月まつり…5月3日（月・祝）／霜月まつり…11月初旬



たたこう館：そば打ち体験

10、その他

■ 広報活動

8月に、松浦充長と上之山博文が、三重県で開催された「全国高校総合文化祭」を見学。高校の和太鼓部、郷土芸能部の実状視察と、研修所のPR活動などを行いました。



たたこう館：レクチャー・実演・座談会「鬼太鼓の伝播を探る」

2009年度 決算

貸借対照表 2009年12月31日現在 (単位：円)

I 資産の部		
流動資産	現金	441,520
	預金	2,553,221
	未収金	8,127,398
	仮払金	2,075,257
	その他	5,738,773
	流動資産合計	18,936,169
固定資産	基本財産	100,211,931
	その他の固定資産合計	589,659
	固定資産合計	100,801,590
	資産合計	119,737,759
II 負債の部		
流動負債	未払金	19,491,531
	仮受消費税	2,497,236
	負債合計	21,988,767
III 正味財産の部		
正味財産		97,748,992
負債及び正味財産合計		119,737,759

正味財産増減計算書 2009年1月1日から12月31日まで (単位：円)

I 正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
	1. 基本財産運用収入	397,363
	2. 会費収入	6,986,735
	3. 事業収入	38,359,309
	4. 補助金等収入	1,033,141
	5. 寄付金収入	956,268
	6. 雑収入	3,046,331
	経常収益計	50,779,147
(2) 経常費用		
	1. 事業費	47,669,909
	2. 管理費	6,688,196
	経常費用計	54,358,105
	当期正味財産増減額	△ 3,578,958
	正味財産期首残高	101,327,950
II 正味財産期末残高		97,748,992

2010 年度 事業計画

1. ワークショップ、講演、セミナーなどの開催
 - (1) 太鼓体験塾（島内 5 回）
 - (2) KASA/MIX ワークショップ（9 月／1 回）
 - (3) 鼓童塾 太鼓篇（10 月／1 回）
 - (4) 研修生と佐渡の中学生との交流公演（10 月／3 回）
 - (5) 地域の学校への出前授業および交流
 - (6) KASA・北米ワークショップツアー
 - (7) 文京区提携事業
2. 伝統文化の再創造に関する研修および実践（研修所）
 - (1) 総合課程（1 年次）：芸能、暮らしの基本を学ぶ
4 月～翌 1 月 約 12 名
 - (2) 専門課程（2 年次）：鼓童メンバー育成に向けて、舞台・スタッフ志望別研修 2 月～翌 1 月 約 7 名
3. アクション・ライブラリーの運営
 - (1) 民俗芸能関係の収集資料の整理
 - (2) 図書・映像資料の整理
 - (3) 図書管理システムの運用
 - (4) インターネット・ホームページの運営
4. 国際芸術祭「アース・セレブレーション」の共催
 - (1) ア・フィレッタ（フランス・コルシカ島のグループ）招聘
 - (2) EC エコロジー企画
 - (3) 地域資源活用型企画
5. 伝統文化に関する調査研究および資料収集
 - (1) 鼓童舞台演目の現地調査研究
 - (2) 鬼太鼓調査研究
6. 伝統文化研究者・文化活動制作者への支援
 - (1) 鼓童メンバー研修支援
 - (2) 小木三崎百年プロジェクト
 - (3) 廃校プロジェクト
7. 年次報告書および関連図書の刊行
年次報告書の発行
8. 鼓童の会の運営
月刊機関誌「鼓童」、季刊英字機関誌「Kodo Beat」の発送、名簿の管理、会員募集
9. アースファニチャー事業
アースファニチャー佐渡の企画販売
10. 佐渡太鼓体験交流館の運営
 - (1) ワークショップ、伝統料理教室、ミニコンサート、講演等
 - (2) 旅行業事業の開発
11. その他
広報活動

財団法人 鼓童文化財団 役員・評議員（2010 年 4 月 1 日現在、50 音順）

理事長	島崎 信	武蔵野美術大学名誉教授
副理事長	山口幹文	鼓童演出顧問
常務理事	青木孝夫	鼓童代表
理事	浅野昭利	財団法人浅野太鼓文化研究所理事長
	高野宏一郎	佐渡市長
	森 千二	音楽プロデューサー
監事	荒井久夫	税理士
	佐藤一行	鼓童会計顧問
評議員	五十嵐實	税理士、日本自然環境専門学校長
	伊藤文吉	財団法人北方文化博物館館長
	永 六輔	作家
	佐々木 愛	劇団文化座代表、女優
	関原 剛	協同組合ウッドワーク顧問
	等々力好泰	新潟トヨタ自動車株式会社社長
	富田 勲	作曲家
	中川忠夫	元小木町長
	姫田忠義	民族文化映像研究所所長
	クリストファー・遙盟・ブレイズデル	尺八演奏家、国際文化会館芸術プログラムアドバイザー
	ロビン・ベリントン	元駐日アメリカ大使館 文化参事官
	本間雅彦	元佐渡・畑野町史編纂委員長
	マーク・ロス	ダイオラマ文化センター ディレクター
	武者利光	東京工業大学名誉教授、ゆらぎ研究所、脳機能研究所所長
事務局長	菅野敦司	鼓童役員

2009 年度 寄付者一覧

2009 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに寄付をくださった方は以下の通りです。(敬称略。1 口 1,000 円)

- 200 口 堀口智顕
- 50 口 五十嵐実
- 40 口 藤井賢一郎
- 20 口 伊藤富貴子、武井京子
NPO 法人周防大島郷土大学
- 12 口 佐々木晴夫
- 10 口 東幸太郎、雨田緑郎、乾正雄、岩本光世、
植松功、幸田国際特許事務所、佐藤惇、
島内達男、杉山玉子、高橋利一、土屋雅春、
筒井祖晋、中島一、土師慶子、春本博章、
松本和子、望月さなえ、山岸稔秋

※ 年次報告書へ名前掲載を希望しない方の寄付金額、
および 10 口以下の方の寄付金額の小計 248,000 円
上記の寄付総合計 790,000 円

たくさんのご支援をありがとうございました。



2009 年度研修生

財団へのご支援をお願いいたします。

財団法人 鼓童文化財団は、趣旨に賛同くださる皆様のご寄付と鼓童の会の会費により活動を進めております。

[寄付]

■ 寄付は 1 口 1,000 円単位で随時受け付け、毎年 4 月に発行する年次報告書をお送りします。年に 10 口以上お申し込みいただいた方には、年次報告書にご希望によりお名前と金額を掲載させていただきます。

■ 2010 年度は、鼓童文化財団研修所と、佐渡太鼓体験交流館の活動の 2 つを重点支援事業と位置づけ、寄付の対象事業を指定できるようにいたしました。詳しくは別紙をご参照いただきまして、何卒ご支援くださいますよう、よろしく願いいたします。

■ ご送金は郵便局備え付けの郵便振替用紙に、お名前、ご住所をお書き添えの上、「00690 - 9 - 25829 (財) 鼓童文化財団」宛にお願いします。寄付の対象事業を指定する場合は、通信欄に事業番号をご記入下さい。

財団への寄付は、鼓童の会の会費とは異なります。また、寄付金控除として所得から差し引くことはできませんのでご注意ください。

[鼓童の会：後援会と、法人会員制度]

■ 鼓童グループは、公演企画制作や商品開発、販売業務を行う (株) 北前船と、著作権管理を行う (有) 音大工、そして (財) 鼓童文化財団という 3 つの法人で構成されています。研修所の運営や伝統文化の調査研究などを行う財団の事業は、鼓童の活動の根幹を担うものです。

■ 鼓童文化財団は、寄付金と共に鼓童の会の後援会の会費が大きな収入となっております。鼓童の会には友の会・後援会・賛助会の 3 種類がありますが、財団の活動を支援する気持ちを強くお持ちの方は「後援会」(入会金千円、年会費 1 万円)へご入会いただければ幸いです。すでに、友の会や賛助会にお入りの方の後援会への切り替えも随時受付いたしております。

■ また、企業・団体の皆様に向けて「法人会員制度」(入会金無料、年会費 10 万円)も設けております。詳しくは下記事務局までお気軽にお尋ね下さい。

財団法人 鼓童文化財団 2009 年度 年次報告書 2010 年 4 月 10 日発行
発行責任者…島崎信、編集…菅野敦司、千田倫子
写真…宮川舞子、南しずか、田中文太郎、鼓童

財団法人 鼓童文化財団：

〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田 148-1 鼓童村

TEL. 0259-81-4100 FAX. 0259-86-3631

E-mail. zaidan@kodo.or.jp

<http://www.kodo.or.jp>